

塗膜厚自動帳票システム『COAT VISION』を開発（NETIS 申請中）

高田機工株式会社と株式会社レックスは、塗膜厚管理の作業効率を約70%向上可能な塗膜厚自動帳票システムを共同開発しました。本システムは、株式会社レックスより販売いたします。

塗膜厚自動帳票システム『COAT VISION』の概要

橋梁の塗膜厚は、従来、アナログの膜厚計を使用して計測していました。アナログの膜厚計を使用する場合、測定者と記録者の2人1組での作業となり、測定者が計測結果を読み上げ、記録者が野帳などに記録します。計測完了後は事務所に帰り、表計算ソフトへ測定値を転記し演算を行い、結果を帳票にまとめていました。

開発した「COAT VISION」は、Bluetooth 接続したデジタル膜厚計と携帯端末を連携させることで、計測結果を自動記録し、1人での作業を可能にします。

本システムでは、塗装検査の各種条件（塗装系、測定区分、ロットNo等）を選択後、測定位置を事前設定した位置図を参照しながら2~4タップで特定できます。また、各層を同じ測定位置で管理する場合、前層計測時にQRコードを読み取ることで迅速に特定可能です。さらに、計測時にはブザーや音声により、薄め・正常・厚め等の傾向を確認できるため、画面を見ずに塗膜の状態を把握できます。測定が完了すると、直ちに合否を確認できます。計測結果を、その場でcloudにアップロードするだけで現場事務所のPCから帳票データをダウンロードでき、転記ミスなどのヒューマンエラーを防げます。これらの機能により、計測作業の効率が約70%向上することを確認しています。

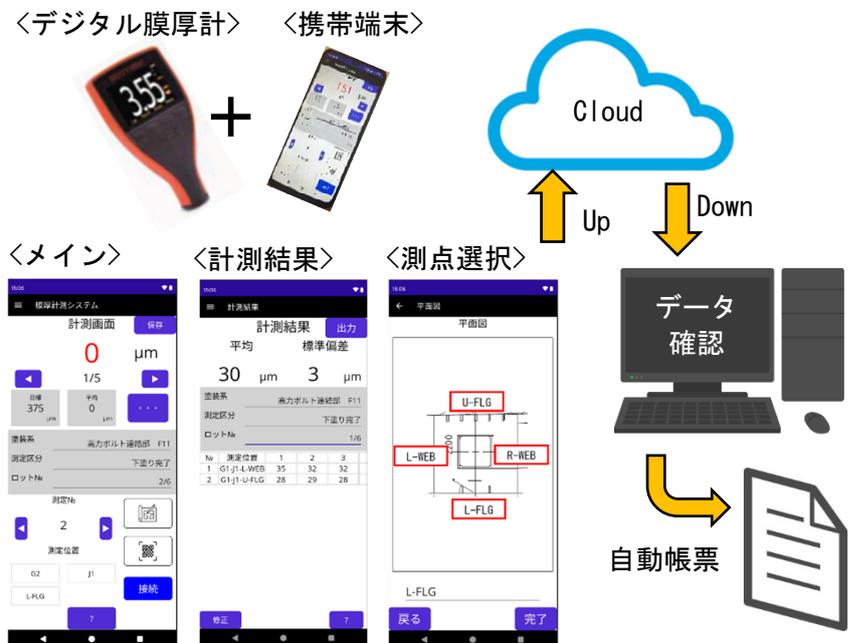
本システムは、鋼道路橋防食便覧（平成26年3月）に対応しています。



〔従来技術〕



〔新技術（COAT VISION）〕



〔COAT VISION システム概要図〕

〔開 発 元〕 高田機工株式会社 技術開発部開発課 MAIL：device@takadakiko.co.jp
 株式会社レックス MAIL：info@rex-inc.co.jp
 〔販売代理店〕 株式会社レックス MAIL：s.kubota@rex-inc.co.jp